

陥凹型早期大腸癌の特集号編集に踏み切るまでには種々の討論があった。反対の代表は、症例も少なく時期尚早という意見であった。しかし、症例は少なくとも発見のきっかけとなる内視鏡所見は特徴的で、共通するニュアンスをうかがい知ることができる。この“ニュアンス”を多数の読者にみていただくことで、もっと多数の、もっと典型的な症例の発見につながる可能性がある、という意見が時期尚早論を制した。

陥凹性早期大腸癌は、少数例しか発見されていないが、もし多数例が発見されれば、大腸癌の発育進展過程のブラックホールを白日のもとに曝し出せる可能性があると思う。そういった意味で

は、早期胃癌に匹敵する業績になるであろう。そして、その発見は日本の、診断のプロにしかできないであろう。

本号はあくまでも先導的役割が期待される特集号であって、これで終わりであってはいらないと思う。何年かあとに多数例をまとめた論文で飾られた特集号が発刊できるのか、胃の IIb 型癌のように臨床診断の対象とならない病変として放置されるのか、診断屋の正念場であろう。

本誌は 1 巻 1 号の早期胃癌の特集以来、癌、炎症を問わず消化器病の、特に診断面では機関車の役割を果たしてきたと思う。本号の特集の意図が生かされることを祈ってやまない。

胃と腸

9月号 (第22巻・第9号) 予告

発売予定 9月2日
定 価 1,700円

主題／胃底腺領域の癌—IIcを中心として

序 説	IIcを中心とした胃底腺領域の癌の問題	
	“linitis plastica への道”の風景から	筑波大・病理 中村 恭一
主 題	胃底腺領域の IIc の診断と深達度診断	都がん検診センター 牧野 哲也・他
	胃底腺領域の IIc の診断と深達度診断	癌研・内科 馬場 保昌・他
	胃底腺領域の IIc 型胃癌のスクリーニング X 線検査	
	—特に早期の linitis plastica 型癌の診断	鹿児島大・2内 西俣 寛人・他
	胃底腺領域の IIc 型胃癌の内視鏡診断	東大医大・消化器センター 鈴木 茂・他
	胃底腺領域の IIc —病理からみた診断の実体	松山日赤病院・病理 岩下 明德・他
	胃未分化型癌細胞発生とそれに引続く癌細胞の生体生着様式	筑波大・病理 齊藤 洋子・他
座 談 会	胃底腺領域の癌—IIcを中心として	仙台市医療センター 望月 福治・他
今月の症例		癌研・内科 清水 宏・他
初心者講座	大腸検査法 (9)	昭和大藤が丘病院 岡本 平次
病理学講座	消化器疾患の切除標本—取り扱い方から組織診断まで—	癌研・病理 加藤 洋

胃と腸 (第22巻 第8号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 受付台 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5714

販売部直通 (03) 817-5659

1987年8月25日発行 (毎月25日発行)

1部定価 1,700円 (配送料 80円)

年ぎめ予約購読料 19,080円 (送料弊社負担)

FAX (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印 刷 所 永和印刷 (株) ☎ (03) 813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 814-5771

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1987, Printed in Japan.

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権の侵害となる場合がありますので御注意下さい。

(担当) 窪田・長谷川・荻原・大竹